

情報処理センター長就任にあたって

渡 辺 義 明

情報処理センター長就任にあたって御挨拶申し上げます。

近年、コンピュータとその利用環境は急激な広がりを見せております。コンピュータおよびそのネットワークは専門家が使う時代から誰もが使う時代に入っています。このため、本学を志望する受験生や出ていく卒業生の職場の情報活用レベルが大学より上になり、大学だけが取り残されることが起こりかねません。魅力ある大学であり続けるために、研究・教育・事務処理・広報など多くの面で情報化を急ぐ必要を感じています。回りの変化があまりに速く、また取り組む課題が多い中、情報処理センター長の責務をどこまで果たせるか分かりませんが、精一杯努めますので皆様の御支援をお願いします。

全学的に情報化への取り組みが進んでいます。総合計画検討委員会において大学の情報化が検討されました。情報処理教育についても関係各位の努力によって全学的な教育のできる体制がほぼできているようです。ネットワーク環境ではFDDIやATM高速ネットワークなど基幹部分の整備が進んでいます。またネットワークの利用の面でも徐々に増加の傾向にあり、一部ではコミュニケーション手段として電話やFAX以上に頻繁に利用され始めています。

情報処理センターでは、さらにネットワークや教育設備などを充実すべく努力しております。学内外から電話経由でネットワークに入れるサービスも始めています。また来年の始めにはレンタル機器のリプレースを行うべく、多くの方々の協力の元で検討が進んでいます。さらに、情報処理センターを総合情報処理センターへ移行することを検討しています。

しかし、全学の協力を得て検討すべき問題も多く残されています。例えば情報処理教育の面では、演習のための設備不足や教育内容、教官負担などを考える必要があります。ネットワーク末端の整備の遅れも問題です。また情報化をサポートする人員の確保も大きい問題です。情報処理センターの人員では追いつかず、現状では多くのボランティアで支えていただいておりますが、限界に近づいています。全学的な体制作りが急がれます。さらに情報発信など中身の問題も議論する必要があります。インフラ整備、サポート管理体制、情報教育や発信の中身の充実など、その多くは情報処理センター単独では解決の付かない規模の問題です。佐賀大学が将来とも魅力ある大学でありつづけるためには全学的な取り組みが望まれます。情報化推進への御理解と御協力をお願いします。